ウソでもいいから「優秀な成績で」

P②　小倉啓助

赤川先生に結婚式の来賓として祝辞をお願いしたのは、私の生い立ちを「小倉君は真面目に研究に打ち込み、優秀な成績で神戸大学を卒業されました。」と締めくくってもらえると思ったからでした。ところが先生の口を突いて出た言葉は「小倉君との思い出と言えばグラウンドでサッカーやソフトボールに興じたことと・・・それから、彼は超能力でスプーンを曲げるンですよ。」でした。

確かに実験に明け暮れる合間を縫って研究室対抗のスポーツに汗を流したものでした。松本研との「Heat 杯」や阪大石谷研との「King of boiler 杯」など、晴れの舞台では学生に負けず劣らずの気力を見せておられました。

ある日「海外からのお客様に君を紹介するから研究室に来なさい。」とお呼びがかかりました。研究テーマの説明を求められると思って手元の実験データや図表を持って部屋を訪ねると、先生がお客様に ”He bends the spoon through psychokinetic power.” と説明して、私に当時ブームだったスプーン曲げを見せるように言われました。無事スプーンは目の前でグニャリと曲がってお客様は驚き、先生はとても誇らしげでした。

恩師の追悼文集にもかかわらず、学術的偉業の片鱗さえ称えることのない思い出ではありますが、結婚式での祝辞に対するせめてものお返しにさせていただきます。

1973 年 Heat 杯、赤川研勝利

（ 終 ）